

山梨県民の口腔の健康づくりに関する連携協定を締結

サンスター

サンスターは、山梨県、山梨県歯科医師会と、県民の歯科口腔保健を通じて健康づくりを推進する連携協定を締結し、2月9日、山梨県庁防災新館にて締結式を行った。

長崎幸太郎 山梨県知事は、「歯と口腔の健康は、全身の健康にも重要な役割を果たしている」と言われている。山梨県歯科医師会様とサンスター様の連携は、県民の健康増進という観点から、大変心強く感じている。

この協定を機に、超高齢社会に対応するオーラルフレイル対策等の取り組みが一層推進され、県民の健康寿命のさらなる延伸につながることを期待している」とコメントしている。

サンスターの柴田公生代表取締役は、「山梨県南アルプス市に『サンスター山梨工場』を建設させていただいた。日本の中心にある山梨県で、主力商品である洗口液を、日本全国、世界中へ届け、製造に励むことも、オーラルケアの重要な

山梨県は、歯と口腔の点とした全身の健康と豊かな人生の実現をサポートすることを目指している。こうした三者の思いが合致し、今回、山梨県科保健医療に携わる立場から県民の口腔の健康づくりを進め、口腔機能を生涯にわたり維持できるように取り組んでいる。

一方、サンスターは、「100年 mouth health」を掲げ、人生100年時代におけるお口の健康を起



山梨県・一般社団法人山梨県歯科医師会・サンスター株式会社
山梨県民の口腔の健康づくりに関する連携協定 締結式

スポーツ庁「スポーツユエルカンパニー2023」に認定

ライオンは、従業員のスポーツ活動の促進に向けた取り組みやスポーツ分野における積極的な支援を実施している企業として、スポーツ庁より「スポーツユエルカンパニー2023」に認定された。

昨年に続き、2度目の認定となる。同社は、パーパス「よい習慣づくり」で、人々の毎日に貢献する「Redesign」を起点に、従業員の健康意識の向上・自発的な健康行動の習慣化を促す取り組みを行っている。具体的には、「健康指針」を柱に、会社・従業員・健康保険組合が一体となり、生活習慣改善、お口の健康、メンタルヘルス対策、がん予防、禁煙支援等の健康行動習慣化サポートを行っている。

また、スポーツ庁「Sport in Life コンソーシアム」へ加盟するとともに、従業員へ、さらなる企業成長にスポーツ活動促進として、徒歩・自転車通勤の推奨、健康保険組合と連携したウォーキングイベントの実施、身体活動量を増やすコツ等の情報発信、40年以上続く文化体育会活動など、従業員を中心とした健康イベント等の活動に加え、一般市民向けのウォーキングイベントへの協賛も行い、スポーツを奨励している。

これらの取り組みが評価され、「スポーツユエルカンパニー2023」に認定された。今後も従業員の健康保持・増進に努め、それぞれの自己成長・人生の充実につなげるとともに事業を発展させ、さらなる企業成長につなげていく。



お客さま窓口の電話・チャット 対応で最高評価を獲得

「HDI格付けベンチマーク」の三つ星を2年連続でダブル受賞



資生堂お客さま窓口は、サポートサービスにおける世界最大のメンバーシップ団体「HDI」の日本支部(HDI-Japan)が主催する2022年度の「HDI格付けベンチマーク」にて、2021年に続き「対応記録毎/モニタリング評価(電話)」と「問合せ窓口格付け(チャット)」の両部門で最高評価の三つ星を獲得した。

「HDI格付けベンチマーク」は、HDIの国際標準に基づいて設定された評価基準に沿って、審査員が顧客の視点で評価し、三つ星星なしの4段階で格付けするもの。受賞にあたっては、同社窓口の豊富な知識を活かした情報提供力や顧客に寄り添い、安心感をサポートできるようLINEアプリを活用した「LINE Eで美容相談」を開始し、顧客の利便性を高める取り組みに注力してきた。さらに、コロナ禍

においても安定的にお客さま窓口を運営するとともに、対応担当者の働き方を進化させるため、2020年より在宅でのLINEチャット、2021年からは在宅コールセンターシステムを導入し、在宅での顧客対応も実施している。

また、お客さま窓口に寄せられる申し出や店頭での声、SNS上の声など、商品やサービスへの「お客さまの声」を収集し、社員へ共有することで、商品やサービスの価値づくりに活用している。

オリックス

ディーエイチシーの子会社化を完了

オリックスは、ディーエイチシーの議決権の91.1%を取得し、子会社化した。田嘉明氏は、株式譲渡完了後も引き続き完全子会社として責任を担っていく。